

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52452	レクリエーション実技 Practical Skills of Recreation	伊藤照・谷村			1	選択	1.2通年・集中

科目の概要

レクリエーションによる支援の考え方について理解を深め、その中でレクリエーション・インストラクターに期待されている役割について考える。また、レクリエーション・インストラクターの資格取得に必要な、レクリエーションに関する基礎技能の習得を目指す。(DP①③⑥)
 各レクリエーション種目とくに生涯スポーツ系のレクリエーションの支援演習を行う。(DP②③)
 また現代社会において、健康で豊かな生活を送っていくための一手段としてスポーツとともにレクリエーションは重要な役割を担っていることを理解する。(DP①③④)
 学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。(DP③④⑥)

学修内容	到達目標
① 生涯を通じて日常的な生活においてもレクリエーションが習慣化されること。 ② レクリエーションを通して、集団におけるコミュニケーション能力を高め、社会性を身につける。 ③ 基本的なレクリエーション技能を身につけ、基礎的な指導ができるようにする。 ④ ルールや運営方法などを身につける。 ⑤ 様々なレクリエーション種目の紹介と実践により、レクリエーションに対する理解を深める。	① 日常生活の中でレクリエーション活動が習慣化できることで、生涯学習において貢献することができる。(DP①③⑥) ② レクリエーション活動を通して社会性を身につけることで社会において自立することができる。(DP③④) ③ レクリエーション活動の中で技能を身に付けることで保育に関する基礎的指導ができる。(DP③) ④ ルールや運営方法などを理解し、スキルやリテラシー等を身に付け、運営能力を身につけることができる。(DP②③) ⑤ 全体を通じてレクリエーションに対する理解を深め、レクリエーション実践の意識を高めることができる。(DP①③)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自分のやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
	働きかけ力	
	実行力	積極的に行動し、自分の考えを実行に移し、成果をだす
考え抜く力	課題発見力	自分のスキルを分析し、課題を見つけて対処する
	計画力	
	創造力	アイディアを出し、新たなレクリエーション種目を創り出す
チームで働く力	発信力	レクリエーションの中で相手の意見を理解し、自分の考えを発信する
	傾聴力	レクリエーションの中で、相手の意見を正確に理解し、チームで協力して実践する
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻・無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：①日本レクリエーション協会（2017）「楽しさをおした心のげんきづくり レクリエーション支援の理論と方法」（必ず購入してください） ②日本レクリエーション協会（2002）「楽しいアイズブレーキング」（必ず購入してください） 参考書：日本レクリエーション協会監修（2013）「やさしいレクリエーションゲーム」成実堂、学泉ノート

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「レクリエーション論」、「レクリエーション実習」、「生涯スポーツ」、「アウトドア演習」
 資格との関連：レクリエーションインストラクター、(スポーツインストラクター)

学修上の助言 **受講生とのルール**

・実技系の演習科目のため、しっかり出席しましょう。 ・レクリエーションの楽しさを理解し、日常生活やスポーツ活動の中で、どう役立てていくかについて学んで欲しい。	・授業を受けるときにふさわしい服装、身だしなみであること。 ・日頃から運動に親しみ、戸外で活動することを心がけましょう。 ・携帯電話は必要ないので持ち込まない。 ・授業態度の悪い学生は退席してもらおう。 ・遅刻、欠席をしないこと、必ず連絡・報告する。 ・出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。
--	--

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		10	①	✓	
					②		
					③		
					④		
					⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		80	①				
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④				
			⑤				
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中でレクリエーション活動が習慣化できる レクリエーション活動を通して社会性を身につけることができる レクリエーション活動の基礎的指導ができる。 ルールや運営方法などを理解し、運営能力を身につけることができる 全体を通じてレクリエーションに対する理解を深め、レクリエーション実践の意識を高めることができる 総合評価90以上はS（秀）、89～80はA（優）とする 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中でレクリエーション活動が習慣化できる レクリエーション活動を通して社会性を身につけることができる レクリエーション活動の基礎的指導ができる。 ルールや運営方法などを理解し、運営能力を身につけることができる 総合評価79～70はB（良）、69～60はC（可）とする

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 授業のねらい、目的と 内容について確認する (谷村)	授業のねらい、目的と 内容について理解できる パソコンを使用しアイス ブレーキングの必要 性について調べる	種目の概説とアイスブ レーキングの実践によ り、レクリエーション を理解することができる	(予習) レクリエー ションとはどのような ものか予習する 適度に運動をしておく	60	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	レクリエーションゲー ム① チャレンジザゲーム (伊藤照)	実技・演習 教員からの説明の後、 実技を実施する ニュースポーツおよび チャレンジザゲームに ついて調べる 理解確認として感想や 意見を聞きフィード バックする	各種目のルールを理解 し、技術を主体的に習 得することができる	(予習・復習) レクリ エーションゲーム、 チャレンジザゲームに ついて予習する	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	レクリエーションゲー ム② チャレンジザゲーム (伊藤照)	実技・演習 教員からの説明の後、実技 を実施する パソコンを使用し、チャ レンジザゲーム各種のルール などを調べ理解する 理解確認として感想や意見 を聞きフィードバックする	各種目のルールを理解 し、技術を主体的に習 得することができる	予習・復習) レクリ エーションゲーム、 チャレンジザゲームに ついて予習・復習する	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	フライング・ディスク ① (伊藤照)	実技・演習 教員からの説明の後、 実技を実施する 理解確認として感想や 意見を聞きフィード バックする	ディスクの基本投法と 基本キャッチを修得す ることができる	(予習) 各種のフライ ング・ディスクについ て予習する	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	フライング・ディスク ② (伊藤照)	実技・演習 教員からの説明の後、 実技を実施する 理解確認として感想や 意見を聞きフィード バックする	集団ゲーム、アルティ メットにチャレンジす ることによって積極的 に理解できる	(予習) 各種のフライ ング・ディスクについ て予習する	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	ソフトバレーボール・ キンボール (谷村)	実技・演習 教員からの説明の後、 実技を実施する 理解確認として感想や 意見を聞きフィード バックする	ソフトバレーボール、 キンボールのルールを 理解し、ゲームするこ とができる	(予習) ソフトバレー ボール、キンボールに ついて予習する	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	レクリエーション実践 指導実習の企画 屋外活動 (谷村)	実技・演習 教員からの説明の後、 実技を実施する 理解確認として感想や 意見を聞きフィード バックする	目的や対象に合わせた レクリエーションを考 える	(予習) 指導内容をイ メージしてくる	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	レクリエーション実践 (谷村) 指導実習の企画 屋外活動	実技・演習 教員からの説明の後、 実技を実施する 理解確認として感想や 意見を聞きフィード バックする	目的や対象に合わせた レクリエーションを考 える	(予習) 指導内容をイ メージしてくる	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	レクリエーション実践 (谷村) 指導実習の企画 屋外活動	実技・演習 教員からの説明の後、 実技を実施する 理解確認として感想や 意見を聞きフィード バックする	目的や対象に合わせた レクリエーションを考 える	(予習) 指導内容をイ メージしてくる	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	スペシャルオリンピッ クス実践企画 (谷村)	実技・演習 教員からの説明の後、 グループで企画する 理解確認として感想や 意見を聞きフィード バックする	目的や対象に合わせた レクリエーションゲー ムを考える	(予習) 実践内容をイ メージしてくる	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	スペシャルオリンピッ クス実践企画 (谷村)	実技・演習 教員からの説明の後、グ ループで企画・立案する 理解確認として感想や意 見を聞きフィードバックする 特別講師を招いての講義と グループワーク 特別講師：スペシャルオリ ンピックス日本・愛知	目的や対象に合わせた レクリエーションゲー ムを考える	(予習) 実践内容をイ メージしてくる	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	スペシャルオリンピッ クス実践企画 (谷村)	実技・演習 プレゼンテーション 発表 ITC活用として学生によ るビデオ撮影と音響 実技を伴うテストを実 施する 理解確認・フィード バック	(予習) 実践内容をイ メージしてくる	(予習) 指導内容を確 認する	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	まとめ スペシャルオリンピッ クス実践 (谷村)	実技・演習 プレゼンテーション 発表 ITC活用として学生によ るビデオ撮影と音響 実技を伴うテストを実 施する 理解確認・フィード バック	スペシャルオリンピッ クスが実践できる	(予習) 実践内容の確 認をする	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	まとめ スペシャルオリンピッ クス実践 (谷村)	実技・演習 プレゼンテーション 発表 ITC活用として学生によ るビデオ撮影と音響 実技を伴うテストを実 施する 理解確認・フィード バック	スペシャルオリンピッ クスが実践できる	(予習) 実践内容の確 認をする	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	まとめと振り返り	12. 13. 14回の授業を視 聴し振り返りまとめる 理解確認・フィード バック	各種のレクリエーショ ン及びスペシャルオリ ンピックスの各種目 の内容を確認し理解でき る	(復習) 各種レクリ エーションの名称につ いて復習する	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力